



# PTA新聞 おきなわ

発行  
(一社) 沖縄県PTA連合会

〒900-0002  
那覇市曙2-26-27  
TEL (098) 867-3582  
FAX (098) 867-0309

責任者 下地 イツ子



初日の出 (金武町) 撮影: 大城多栄子



初日の出 (豊見城市) 撮影: 外間隆史

## 新年のご挨拶



会長 下地イツ子

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和の新年号と共にスタート致しました6月の定期総会にて本連合会第24代会長に就任してから、正に「光陰矢の如し」の速さで上半期が過ぎました。

令和元年度、第70回の童話・お話・意見発表大会の記念すべき大会が初の離島開催として宮古島にて行われました。県内各地より代表の96名の児童生徒の皆さんが素晴らしい発表をして下さいました。宮古地区PTA連

合会の皆様には準備運営に多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございますございました。たんていがーたんてい。

また、第61回研究大会八重山大会では、石垣市を中心とした八重山地区PTA連合会の皆様にも大変お世話になりました。1100名余の会員の皆様のご参加をいただき、多くの学び、活動の悩み、楽しさ、アイデア、やり甲斐を共有し持ち帰り、明日からの活動に活かすことのできる有意義な大会になったと思われま。ご参加の皆様、ご協力いただいた皆様に感謝。みいふあいゆー。

県PTA連合会では、今年度新たに、「事業検討委員会」を立ち上げ、主催事業の在り方、内容の見直しや事務方の経費節減についてなど様々な方向から事業の見直しを図り、会員の皆様から徴

収した大切な会費を無駄なく有効的に事業運営に活用すべく、検討と協議を重ねているところです。喫緊の課題である事業運営費の見直しを先へ先へと延ばせない状況があり「今やらないでいつやるの!今でしょ!」と御参加の皆様から前向きな検討案がいくつも出され、今現在だけではなく、この先の10年後までを見越して様々に検討し、理事会の承認を経て早いものでは、年度内には会員の皆様にも改めてお知らせを行う予定でございます。

誰のための、何のためのPTAかを念頭に、多くの方々との意見を交わしながら、前向きに取り組んでいきたいと思ひます。本年も変わらず本連合会へのご理解とご協力のほど宜しくお願い致します。

会員の皆様の御多幸と御健康を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

# 新しい時代を共に歩むPTTA 家庭・学校・地域がつながり、高めよう「親力」

## 第64回

### 日本PTTA九州ブロック研究大会 福岡県大会



#### 全体会

爽やかな秋空のもと新しい年号、令和元年10月26日・27日参加者約8000人が福岡県に集まり子どもたちの為に論議を交わしました。26日は各テーマに基づき9会場で分科会が行われました。27日の全体会は福岡マリオンメッセにて、素晴らしい功績を残した団体・個人などの表彰が華やかに行われ、今大会に貢献した方々への感謝状が送られました。記念講演ではピリギヤルこと小林さやかさんと国立青少年教育振興機構 理事長の鈴木みゆきさんを招き、お二人から「親力」さらに高めて子どもたちの未来を創造しようという演題について貴重なお話を聞くことができました。

特に小林さやかさんのお話から子どものまをを受け止める、小さな出来るが大きなやる気に変える。認めてくれる大人がいると子どもは伸び伸び育つことなど、子育てのヒント、「親力」になるお話をたくさんお聞きできました。その中でも一番心に響いたのは、きらっきらでワクワクした親の背中を子どもたちに見せて欲しい。すると自然と子どもの笑顔も増えていくという言葉でした。私自身PTTA活動をもっと楽しくきらっきらな人生を子どもたちと送っていかうと改めて思いました。

広報委員 知念一美



＊親力（おやちから）とは子育てを通して保護者も学び共に成長していくこと。

#### 第一分科会

PTTA活動を従来どおりの体制では難しいことが多く、時代に沿った変化が必要で、失敗してもいいから昨年とは違うことを実行することが大切なようです。つぎにPTTAの問題点や望ましい活動内容を考えるために保護者と児童にアンケートを取り、その結果を基にクラスで話し合うことが子供たちの望む活動が見えてくるようです。

イルミネーションを計画、実施することによりPTTA会員（保護者）が楽しむ姿を見せる（魅せる）ことが重要であり、PTTAに地域（Community）を加えたPTTAの構築が必要のようです。

組織改革は必要だが、各専門部の目的を明確にし、検討する必要があると感じました。PTTA行事などは子どもたちの意見も取り入れることが重要だと考えます。

また、各専門部を9から6へ削減、保護者単位で希望の専門部を構成するのではなく、2学年ごとに担当する専門部を割り振り横のつながりに変更、報告だけの運営委員会はやめて、議題や問題があるときにだけ開催するなど大幅な組織改革をおこなっております。

地域の連携については、子どもたち主体のイベント、クリスマス

牧港小学校PTTA

会長 城間 薫

### 第三分科会



コミュニティ形成・連携強化・広報活動「広げる親力」をテーマに活発な討議がおこなわれました。

これからのPTAの活動において、「既存の価値観や固定概念に捉われない柔軟なアイデアが必要になる」、「地域の自治会や町内会・NPO法人・企業等社会を構成する様々な団体が共に協力し支えあう地域コミュニティが必要」など、とても有意義な討議でした。PTAは学校を中心とした地域づくりの中心的存在であること

を自覚しながら、地域との連携や協働を深め、PTAの存在意義を発信していくことが必要であると再確認できた大会でした。今回の大会の中で学んだことをこれからのPTA活動の中で生かしていきたいです。

うるま市PTA連合会 副会長 赤嶺 松貴



### 第四分科会



「つなげる親力」をテーマに行われた第4分科会では、家庭・学校・地域を繋げるコーディネート(調整)について学ぶことができた。

提言者の2校とも、地域が学校に貢献するのではなく、学校が地域に貢献することで、地域との関わりを密接にしており、コーディネートする親は、PTAとして、地域の人間として、企画・会議から行事の運営に至るまでのコーディネートを楽しみながらやっている。「地域学校協働活動」ができており、それが家庭・学校・地域

での子どもたちの育成となり、親と子どもの相互育ちにもつながっているのが、とても良いと感じた。また、楽しみながら継続させるコツとして、「子どもたちに無理をさせない」「大人も無理をしない」「予算は市の地域活性化事業から補助を受ける」などを前提として、企画しているところは、今後の新しい取り組みを意図的に仕掛けていく際に参考にしたいと思った。

南風原町PTA連絡協議会 会長 大城重太



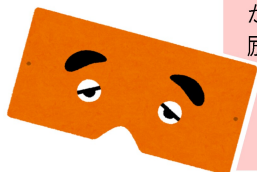
## 九州ブロックPTA協議会表彰

### ◆個人の部◆

- 末吉 司 (名護市PTA連合会会長)
- 城間 一 (沖縄県PTA連合会前副会長)
- 石川 謙 (沖縄県PTA連合会前会長)
- 島崎 朋広 (島尻地区PTA連合会前会長)
- 大道 夏代 (大浜中学校PTA副会長)

### ◆団体の部◆

- 名護市立瀬喜田小学校PTA
- 恩納村立山田幼小中学校PTA
- 那覇市立真和志小学校PTA



### ◆◆◆◆ 受賞団体に聞いてみた ◆◆◆◆

第64回日本PTA九州ブロック研究大会 福岡県大会におきまして、私の所属する恩納村立山田幼小中学校PTAが団体表彰を受賞することができました。その中で、団体表彰の皆さまの代表として舞台上上がり表彰状を受け取るという機会をいただくことができました。私の母校でもある山田小中学校は2年前に小学校が創立130周年、中学校が70周年を迎えました。そして今年度で中学校が72年の歴史に幕を閉じ「うんな中学校」へ統合します。「恩納村立山田幼小中学校PTA」の名称で受賞できる最後の機会に有終の美を飾ることができました。これまで本校のPTA活動を頑張ってきた方々の功績が認められた事を大変光栄に思うとともに今後の活動への励みになることと深く感謝しております。

恩納村PTA連合会 会長 新垣早苗

# 第七〇回沖繩県小中学校童話・お話・意見発表大会 宮古大会 審査講評

## 内容



### 【小学校】

- ①活動の場の広がり、話材が豊富で社会性が育ち、人との関わりが豊かになった。
- ②みんなすばらしい内容
- ③同じ内容でも発表者によって表現力の違いがあり、楽しんで聞くことができた。
- ④人の優しさや親子愛、家族愛があり、感動的だった。
- ⑤学校生活や家庭生活、社会の中での実体験をもとにお話が構成され、聞く人の心に響き興味と感動を与え、語彙が豊富でよく洗練されたお話となっている点は、大変素晴らしいと思う。
- ⑥自分の考えを發展させ、事実と意見を区別して構成を工夫し、適切な言葉で相手にわかりやすく伝えようとする表現の工夫が図られている。

- ⑦お話を効果的に伝えるための工夫として、会話文や沖繩の格言・民謡の一節を引用して、内容を深め、説得力のある文章にまとめるなど、豊かな言語表現の工夫が図られている。
  - ⑧お話の視点が幅広く、(命、生命の誕生、家族の交流、平和、夢、沖繩の文化、学校生活、社会問題など) 豊かな体験を通して気づき考え、課題意識を持ち、自分自身の生活を充実させようと努めるなど、心の成長が感じられる。
  - ⑨低学年にふさわしい題材で話に引き込まれる良い内容であった。
- 改善点**
- 構成(話の山場の工夫等)に気をつける。
  - 児童にふさわしい言語表現になっているか、話のポイント(主題)が一貫して話してまとまっているかに気をつける。
  - 心の変化(変容)を表現するとき、内面の解釈の仕方等に、もっと自分の思いや考えを入れて深めてほしいお話があった。
  - 制限時間を超過する発表がいくつかあった。

- ①身近で貴重な体験を題材にして、それをベースに意見を構成している点が素晴らしい。
- ②情報化社会の中で、しっかりとアンテナを張ってテレビ、新聞、ラジオ等を見聞きし、様々な社会問題を中学生らしい視点で捉えて原稿を作成している点は評価できます。
- ③表題(テーマ)は、聴者を説得したり、自分の世界に引き込むための玄関です。16本のそれぞれのテーマが聴者に意見分の内容をしっ

- かりと訴える工夫が伺えませんでした。
  - ④できれば、触れられたい、いや、そっとしておきたい、そういったプライベートな部分をあえて公にして「カムフラウト」的な内容の意見が数点見られました。公衆の前であえて公表し、前に進むうとするその勇氣を称えます。
  - ⑤話材が中学生として適切だった。
  - ⑥中学生らしい明朗で健康的な話であった。自らの体験と現代社会の問題点を、鋭い感性で捉える中で、自己の生活を振り返り改善していくとする熱意が感じられた。様々な関わりを通して、自分を深く見つめ、成長していく過程を発表していた。
  - ⑦わかりやすい構成で筋が通っている発表があった。
- 改善点**
- 構成が事実や体験の羅列でそこから意見の膨らみに繋がっていないものもあった。

- 改善策として、現実の別の視点や反論に対する視点を加えるなどの工夫が必要。
- 序論・結論と演題が合っていないものがあった。
- 時間を経過して原稿された発表があった。内容の精選が必要。

## 音声



### 【小学校】

- ①訓練された音声で聞きやすかった。
  - ②声の大きさは全体的に良かった。
  - ③会場の皆さんによく聞こえるよう明るくはつきりとした大きな声での発表であった。
  - ④話す内容によって声に変化があり、強弱、高低、緩急がよく表現できていた。
  - ⑤人に伝えるため、話すための間の使い方も適切で、お話が聞きやすい発表が多かった。
  - ⑥口形が良く、話をしっかりと覚えており、聞き手にも
- 分かりやすかった。
- ⑦内容に応じてメリハリがありよかった。
- 改善点**
- 間の取り方、早口になる傾向が見える。
  - 一語一語はつきりと。会話を説明等、場面の変化を明確に。
  - セリフは良かったがナレーションの部分の声が小さい。(話ごとではなく所々で)
  - メリハリが弱かった。間の取り具合(間延び、間がない)
  - お話が早すぎて、語彙や文末表現がはつきりしない部分を感じられた。適切な間の取り方にも留意する。
  - 場面と場面の切りかえの時の間のとり方がもう少し工夫されていればよかった。
- 【中学校】**
- ①さすが、全員が各地代表だけあって、声のトーンが心地良く、いい響きです。変声期前の少年のソプラノ

の持ち主もいましたが、良い響きでした。

②聞き手に十分聞こえる音量であり、音量が明瞭ではっきりしていった。

③話す速さや間のとり方は適当であった。

④普段使い慣れた身についた言葉であり、適切な言葉であった。

**改善点**

●活舌が明確でなく、言葉が流れて聞き取りにくい発表者が数名いた。発声練習を事前に行き取り組むと改善されますので、そのあたりの基本を大切にしてください。

●話し言葉でなく、文語的な表現をそのまま使用しているのが若干違和感がありました。原稿を作成する段階で指導者とともにしっかりと確認することが求められます。

●時間を気にして、早口になってしまった発表があった。内容の精選が必要。

●「常体」の発表があった。

### 態度



中学生の意見発表に「常体」は相応しくないと考える。学校での指導が必要である。

### 【小学校】

①服装、態度もすばらしかった。

②大きな声で返事をして、一生懸命発表していた。

③落ち着いて発表し、最初から終わりまで礼儀正しい発表であった。

④身振りや表情など、自然で無理がなく内容と表現が一致してよかった。

⑤控え、発表前、後と、一人ひとりのしっかりとした態度で素晴らしい発表があった。

⑥表情もよく、内容に応じた動作でもよかった。

### 改善点

●礼の仕方。両手をももに当てて礼をする。

●ジェスチャーが大き過ぎた。

●下とか横を向いたりして、会場を見ずに発表していた。

### 【中学校】

①登壇から降壇迄、全員が素晴らしいマナーで、堂々とした態度でした。

②全員が原稿をしっかりと覚えていて余裕があり、聞き手を意識して発表していました。

③表現やジェスチャーもそれぞれ工夫があり、取り組みの頑張りを感じることができました。

④原稿を覚え、堂々とした態度だった。

⑤聞き手を意識して落ち着いて発表だった。

### 改善点

●感情的になり、発表の最中に涙を流す生徒がいた。感情的になり過ぎないように気をつけてほしい。学校での指導が必要である。

### その他



①運営もスムーズで感動的なお話大会になりました。



②各地区とも平日開催にして、会場校の子どもたちの学びの場を提供してほしい。

③平良第一小の児童の聞く態度がよかった。

④東小学校、砂川小学校の高学年のお友達の聞く態度が大変良かった。お友達の発表を聞いて、感動や学ぶことが多くあったと思う。大変よい機会であった。今後も県大会の開催を離島でも継続していただきたい。

⑤「意見発表大会」は、話し手と聞き手があって成立するのですが、久松中学校の生徒たちの聞く態度は、マナーも良く大変素晴らしいです。また、会場内の雰囲気も「おもてなしの心」があふれていて、とても好感の持てる会場でした。

## 令和元年度 第70回沖縄県童話・お話・意見発表大会 宮古大会 審査結果

		地区	学校名	学年	氏名	演題
最 優 秀 賞	小低・男子	国頭地区	東江小	3	阿波根 昌翔	お母ちゃんがつくったる
	小低・女子	国頭地区	今帰仁小	3	大城 仁那	百さいのけむし
	小高・男子	八重山地区	真喜良小	6	磯辺 ひびき	みえないかべ
	小高・女子	中頭地区	読谷小	6	兼謝名 希実	沖縄の文化を世界へ
	中学・男子	那覇地区	城北中	3	古田 彩都	発信者として
	中学・女子	宮古地区	平良中	2	真喜屋 奏	プラスとハートの思いやり

日本PTA年次表彰受賞団体に聞いてみた！

この賞のエントリーのきっかけは4月に田名真利校長先生が赴任されてすぐに私達PTAの活動の様子を見て推薦して下さいました。

私達泊小PTAは昭和50年に沖縄県で初めての優良PTAとして文部大臣賞を受賞してから44年

当時と変わらない意思を受け継ぎつつ時代にあった活動を行ってきました。ここでは3つの活動を紹介します。

1つは、特に近年那覇新都心地区の交通量が増し危険が増する朝の登校中はスクールゾーン部を中心に全保護者と地域のボランティアの方々毎朝、正門で子どもたちを見守っている校長先生が一体となって子どもたちの安全を守り抜いてきました。  
2つ目は、夏休みの恒

例であるラジオ体操についても多くの地域では大幅に活動期間が縮小しているようですが泊小では5つの地域に分かれPTA子ども会部を中心に夏休み終盤まで規則正しい生活が維持できるよう協力して来ました。  
3つ目の取組として、一人一役で専門部に所属し活発に活動していることです。その他、自発的活動として通学路の安全確保のために学校周辺に7機の防犯灯設置を要請したり、児童見守り安全システムツイタモんの導入等に取り組んで来ました。歴代の先輩方がこれまで培ってきた英知とエネルギーを受け継ぎ現代のPTAらしく10年後もいや100年後も子ども達が生き生きとした学校生活を送れるよう次の世代にバトンタッチしていき

ます。

また今回の受賞はこれまで泊小PTAのOB・OG、地域の皆様のご協力と応援があつてのことです。ありがとうございます。私達泊小PTAは港まち泊から沖縄の子どもの明るい未来をいつまでも応援し協力していきたいと思ひます。

会長 島袋みほ

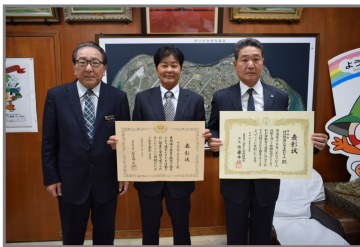
伊江中PTAが優良PTA文部科学大臣表彰と日本PTA全国協議会会長表彰のダブル受賞に輝きました。

伊江中PTAは全世帯が加入し、地域や学校行事の運営や準備など会員が全面的に協力する体制を構築しており、常に教職員と保護者との連携が図られています。また、校内の広大な敷地の整備や作業も同会員が主体的に活動し、学校の環境美化にも大きく貢献するな

どが評価されました。

また、伊江中の新垣博文校長と前PTA会長の玉城さんが19日、伊江村役場を訪れ、島袋秀幸村長に受賞報告をしました。島袋村長は「これまで積極的な活動が評価され、2つの賞を同時に受賞したことは快挙で、大変誇りに思う」と喜びを語りました。前PTA会長の玉城さんも「常に学校に顔を出し、よりよい学校づくりに協力した結果が評価され、PTA会員も喜んでいゝ」と話しました。

事務局 金城幸人



☆☆☆ご協力のお礼☆☆☆

A | G損害保険株式会社(小中学生総合保障制度事務局) 有限会社あい保険工房 様



沖縄県小中学校童話・お話・意見発表大会共催でありますA | G損害保険株式会社(小中学生総合保障制度事務局：有限会社あい保険工房)様より、共催金及び出場者への副賞として図書カードの進呈がありました。その目録贈呈式が、11月22日(金)第6回理事会において執り行われました。誠にありがとうございました。

# スマホおきなわルールづくり 2019

2019年度の県P T A 連合会・県高P T A 連合会共催による「スマホルールづくりおきなわ2019」が10/5 (土) コンベンションセンター研修室にて開催されました。

講師にネットいじめパトロール隊 代表の高宮城 修 氏を迎えネットによる児童生徒のいじめ被害・ネット依存による健康状態の悪化・薬物等の違法取引の現状・いわゆるスマホ育児など他面に渡って、ネット&スマホなどによる被害の現状を講話していただきました。それらの問題を回避するにはどうしたらいいか? 後半は、グループディスカッションを行い小中学生・高校生を持つ保護者同士、話し合いをし、問題の共有と情報交換を行い「各家庭・親子でのオープンな話し合い」が課題解決の一步ではないか? という意見も出ました。

毎回、開催内容に工夫を凝らし、今回は大人のみを対象として開催し、保護者・教師の立場から考えてみよう! という試みでの開催となりました。日々進化を続けるネット社会・I T 化社会の便利さと裏腹に考え、対応していかなくてはならない現状を痛感した研修会でした  
会長 下地イツ子

## 参加者からの声

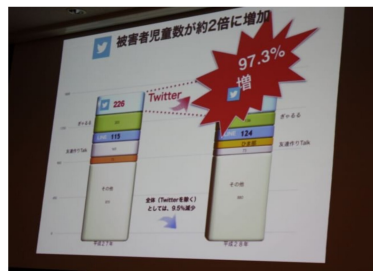
まずは初めてのルールを決めることが大切だと大変感じています。今後の使用について親子で話し合いたいと思います!!



スマホの良さ、悪さが良くわかりとてもためになった。ゲーム依存に対する考え方、対処法とても具体的でわかりやすかったです

とても勉強になりました。自分自身のスマホの使い方を見直すきっかけになりました☆

法律に基づいたSNSの活用の難しさを痛感しました。今日の内容は子ども達にこそ聞いて欲しい内容でした



## 編集後記

私が広報に携わって7年間あっという間でした。年号も変わり、子どもたちの成長もぐんぐん右肩上がりです。広報部員1年生の時に部員みんなと笑い話で「賞が取れたりしたら面白いね～」という言葉から始まり、昨年今年と全国でも賞を頂けるような素晴らしい広報紙へと成長致しました。これも普段よりお世話になっている学校関係者そして地域の方々、あとは子どもたちの笑顔のおかげだと日々感謝しております。今年の全国表彰では表彰状を壇上で授与していただき人生の中でも忘れられない1日となりました。ありがとうございました。

P T A 役員を引き受けていなければ出来ないであろう経験・出会いがたくさんありました。その経験・出会いを大切に、日々子どもたちが笑顔あふれる生活が出来るように広報紙を通して伝えていけたらと思います。今年もよろしく願いいたします。

広報委員 知念一美

広報委員：外間隆史(島尻) 知念一美(那覇) 大城多栄子(中頭) 前原みのり(中頭)

通信委員：仲間里枝(国頭) 砂川葉子(宮古) 鬚川美穂(八重山)